

### 神社前で、尊徳像前で

### 一礼―当時の教育？

島田 昌彦 (83歳)  
(堺区市之町西)

私は、西湊1丁で1938(昭和13)年1月に生まれ、終戦時に湊小学校(当時の国民学校)の2年生でした。今年で83歳になりました。

家族は、父が三度招集され、1946年に帰ってくるまで、母と私、1939年に生まれた妹、1944年に生まれた次女の4人暮らしでした。ほとんど母が、生活を支えておりました。着物などをもって百舌鳥や深井、上神谷方面の農家を訪ねて、食べ物と交換していたことが記憶にあります。

父から戦地での話を聞いたことはありません。ただ一度、銭湯で太ももに大きな傷があったので「どつしたの」と聞きました。「夜、歩哨(ほしやう)〔軍隊で警戒・監視の任に当たること〕に出ていて鉄砲で撃たれた」と言っていました。

母の兄は、フィリピンで戦死したとのこと。弟は、永らくシベリアに抑留されており、戦後、何年だったか、暫くのちに帰ってきました。

通学は集団で、今でもある路地を通って船松神社の前で一礼をして、校庭に設置してあった二宮尊徳像の前で一礼をして、教室に入り、朝礼の時は東を向いて最敬礼した覚えがあります。

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

## 私の戦争体験 (46)

す。また、近くに英霊の家(?)というのがあり、その前を通るときには必ず一礼をしなければなりません。当時の教育…?

母を含めて女性は、防火訓練に参加しておりました。物干し竿に荒縄を何本か括りつけ、水を含ませ、炎に模したものを叩いておりました。子ども心に「こんなことでは消せないのではないか」と見ておりました。

祖父(母の父)は、アナゴやウナギである程度の財を成し、西湊と出島の間にならりの大きな家を持っていました。私の生家と100メートルほどしか離れていなかったもので、よく遊びに来ました。空襲での延焼を防ぐためといって、取り壊されることになりました。家の中心の柱にロープをかけ、近所の人が出で引き倒すやり方でした。祖父と一緒に見ていました。私の手を握り、倒される屋敷を睨みつけておりました。のちに、「中筋」にある小さな家への引越を余儀なくさせられました。

現在の堺駅は移転して新しくなっておりますが、旧の堺駅(龍神駅)周辺では、電車の乗客をはじめ、近くににあった遊郭の遊女、電車の高架下に避難してきた人の多くが折り重なって焼死されたと伝えられております。堺市における戦災の状況を伝えられているところは、住吉橋町にある「戦災無縁地蔵尊」にその詳細を伝えられていると思います。(つづく)

## お楽しみクイズ クロスワードパズル

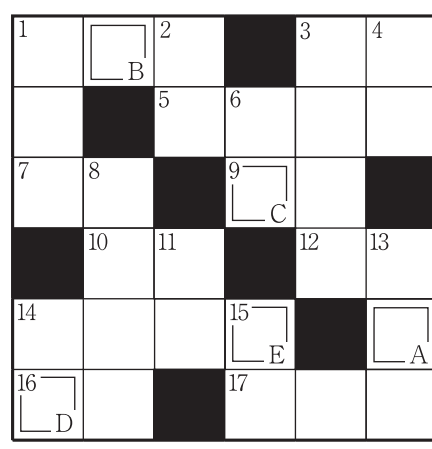
●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-12 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)下のQRコードで取得できるメール(tomo-kenkou@mimihara.or.jp)で。

●しめきり/2022年1月12日(水)消印有効

●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。

●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をA B C順に並べてできる言葉は何?



- タテのキー
- ① 青年よを抱け
  - ② は友を呼ぶ
  - ③ 坂になつて道
  - ④ 朝昼
  - ⑥ を憎んで人を憎まず
  - ⑧ 休業
  - ⑪ 腐っても
  - ⑬ 木造
  - ⑭ 過密の対
  - ⑮ 金銭の 借り
- ヨコのキー
- ① バス、ケツ
  - ③ 年齢の を読む
  - ⑤ 無得点で の終り、ついに予選落ち
  - ⑦ 奈良公園にたくさん
  - ⑨ 食パンにもある
  - ⑩ 役柄が につく
  - ⑫ 地上の対
  - ⑭ 家庭生活を営む能力を育てる科目
  - ⑯ 得勤定
  - ⑰ 動物の を担当す

●10月号の答「ワタリドリ(渡り鳥)」  
●応募数/141通  
●正解者数/141人

### 短歌

なつかしき 友の電話を 受けし今  
重い病と 知りておどろく  
あの手にて 投げた拭った 汗・涙  
ハンカチ王子の 笑顔忘れぬ

中西 博子  
上田 雅子

### 俳句

ハロウインの 子どもの声に 秋惜しむ  
衷心を 解きて仰ぎぬ 月今宵  
(満月に少し雲が出た後、美しい月に独りの刻を忘れ見入りました)

小田 順平  
国沢恵美子

### 川柳

なれば直ぐ 目玉公約 どこか消え  
あと少し 32選挙区 僅差負け  
維新增え 大阪医療 絶滅危惧種か

堀西 和子  
古賀 光政  
林 研

＊句を詠む時の情景や思いもお寄せください。  
＊俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2022年1月12日(水)です。  
＊特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

## 私のおすすめ！簡単レシピ

ピーマン・人参の昆布あえ (目安時間10分)

- 〈材料〉
- ・ピーマン……………3〜4個
  - ・人参……………1/2本
  - ・塩こんぶ……………大きじ1
  - ・いりごま……………小さじ1
  - ・ごま油……………適量

### 作り方

- ①ピーマン・人参は千切りにする
- ②ラップをして1〜2分、電子レンジでチン
- ③水分を切り、塩昆布・いりごま・ごま油をまぶす



＊おすすめポイント  
冷蔵庫で保存可能、彩良し。

〈丹所紀代子さん(京都市右京区)のレシピ〉  
簡単に美味しいレシピをご紹介します。  
材料と作り方(3行程度)とおすすめポイントを書いて送ってください。  
採用者には、図書カード(500円)をお贈りします。

## 編集後記

年末に「とも」1年の振り返りを。4月号から大きく見やすい字体に変えました。5月号からコロナ禍で2面建てにしていた紙面が4面に。郵送も復活しました。6月号「支部紹介」連載開始。お便り欄を大きくしました。7月号「おすすめ簡単レシピ」スタート。8月号「私の戦争体験」再開。9月号「フレイブル予防に「筋活」始めませんか」保存版掲載。新型コロナの自粛が続く1年だからこそ、これだけ新しいことができたかも。来年も皆さんに愛される紙面づくりに頑張ります。投稿、お待ちしております。(明)